

田舎暮らし

～伊勢市からの1ターン 黒岩沙織さんへの インタビュー

- 職業：主婦
- 家族構成：夫・子ども2人
- 移住歴：2年
- お気に入りのスポット
アシュメリー



新しい家族が増えて、住まいが手狭になり転居を考える人は多い。黒岩沙織さんも、そんな1人だった。

「移住のきっかけは2人目の子どもが生まれるからですね。将来的に広い家が良いと思っていたので、2人目が出来た時に移住を考え始めました。飯南は、夫の実家があるので、いつかは飯南に家を建てたいと思っていました。」と先を見据えての決断だったようだ。

移住前の松阪市の印象は、松阪牛をはじめ、食べ物のおいしいところという印象がら이었다ったようだ。

転居先の飯南は、松阪市中部の橿田川中流域にある地域で、主産業は農林業でヒノキやお茶が有名な地域。大部分が香肌峡県立自然公園に属する自然が豊かな渓谷で、ごつごつとした岩々の間を清流が流れるさまは力強いながらも美しく、四季折々の移り変わりも楽しめる場所だ。



飯南茶畑

子どもたちが『生き生き、たくましく』

移住前は土地勘もなく、地域に馴染めるか不安もあったようだが、今では子育て支援センターでママ友とも一緒によく出掛けるそう、日々の生活は充実しているようだ。

ただ、田舎ならではの困りごとはいくつかあるようで「駅やスーパーなどが遠いですし、子供を遊ばせる施設がない。遊具のある公園も地域には少ないので休日はどこに連れていくか悩みますね。また、将来的に働こうと考えているのですが、条件に合う働き口が少ないです。都会のイメージをあまり持たずに田舎だと思って来てもらったほうが良いですよ」と話す。



橿田川

そんな飯南だが、人がすぐくフレンドリーだと話す。ママ友が直ぐにできたこともそうだが、地域の人がとても温かいので「人見知りで自分から話しかけるのが苦手だ」という黒岩さんの心配も取越し苦労だったようだ。

田舎暮らしには都会暮らしに無い苦労があるが、それは田舎でしか得られない経験と、都会暮らしでは希薄となった助け合いの心が残っていることの証だろう。